

審査寸評

長崎雅仁

今年も、たくさんの小中学生の皆さんの作文を読ませていただきました。昨年と比べ、段落意識を明確にもって書かれた作品が多かったように思います。

題材については、日本の文化としてのご飯やお米、そして日本の原風景としての水田、米作りという視点から書かれた作品が印象的でした。私も改めて気付かされたことがたくさんあり、書くことを通して多面的なものの見方が育っている様子が感じられました。